

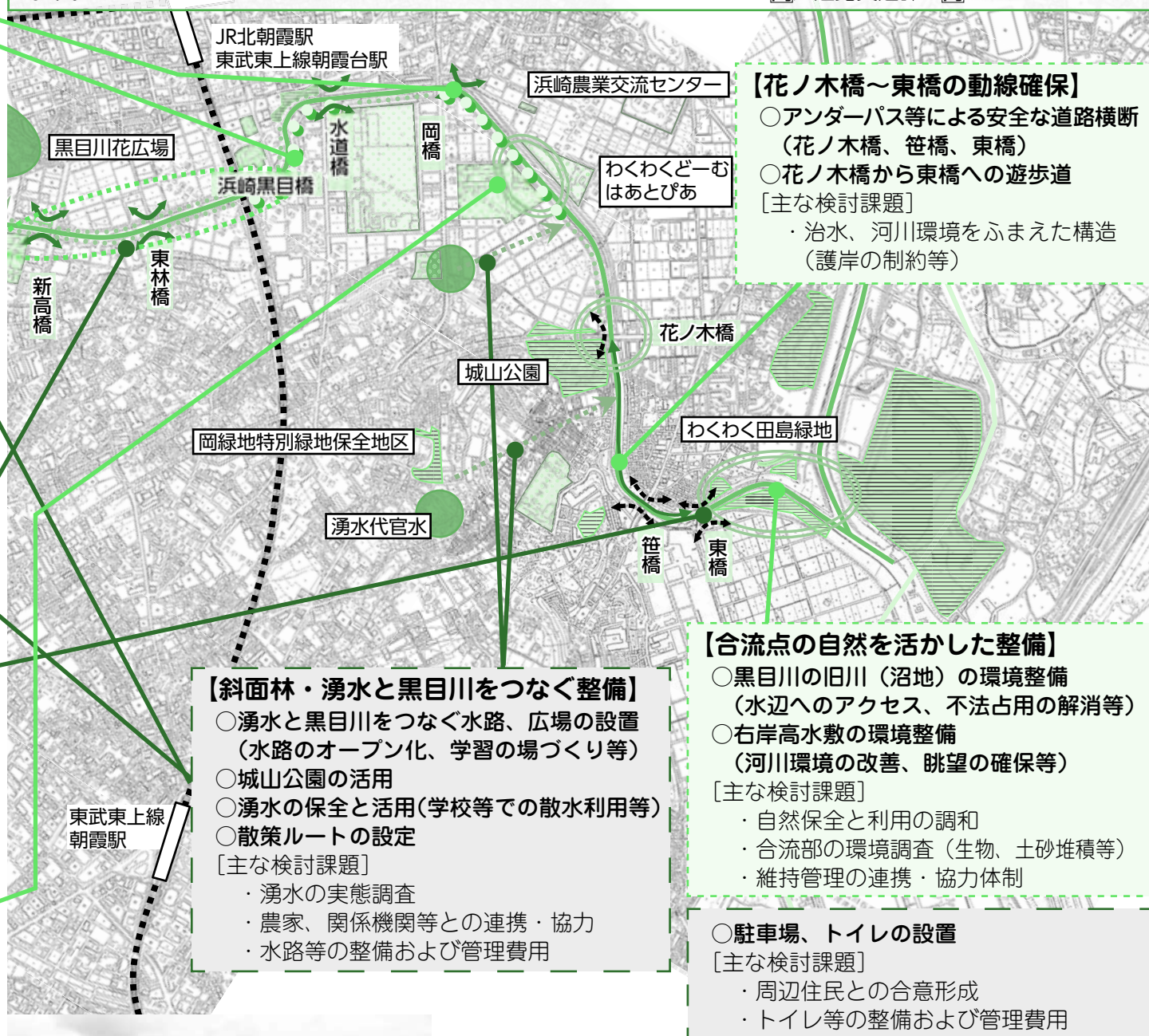
黒目川まるごと再生プロジェクト 全体計画が決まりました

埼玉県では、平成24年度から、一つの川を上流から下流まで、地元自治体を実施するまちづくりなどと連携して、線的、面的に広がりを持った川の再生を行う、「川のまるごと再生プロジェクト」を開始しました。平成24年度は、市や町の提案の中から黒目川を含む10河川を選定し、地域住民や活動団体等と市・埼玉県による検討会を立上げ計画づくりを進めるとともに、計画がまとまった区間から整備を実施していく予定となっています。

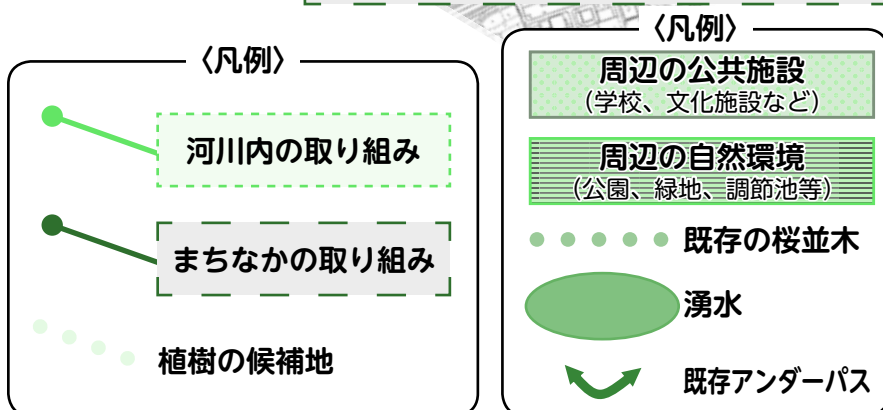
黒目川については、朝霞市と新座市が連携して計画づくりに取り組み、朝霞市ではこれまでに市部会を計7回開催しています。市民と行政が協働して計画案を検討し、12月20日(木)に計画が決まりました。

今後は、具体化に向けて技術的な検討を行い、地域の方々のご理解、ご協力をいただきながら、事業を進めていきます。

問 道路交差課 内2542 ☎ 463-0912



8月11日(土)、現地視察の様子





第1回朝霞市部会の様子

【歴史を伝える施設整備】

- 歴史を伝えるサイン設置（川越街道、膝折宿、伸銅などに活用した水車等）
 - 大橋の欄干改修（歴史を感じる景観整備）
- 【主な検討課題】
- ・大橋の老朽化対策との調整
 - ・大橋の欄干のデザイン検討

【地域活動の拠点整備（膝折団地付近）】

- 水辺へのアクセス確保（清掃活動の支援、水辺とのふれあいの場）
 - 景観に配慮した護岸の改修
- 【主な検討課題】
- ・治水、河川環境をふまえた構造

○フェンス撤去等による交流の場の創出（健康づくり、地域の交流行事、歴史紹介等）

- 【主な検討課題】
- ・官民境界の画定
 - ・膝折団地等、周辺住民の合意形成
 - ・維持管理の連携・協力体制

【黒目橋～新座大橋の動線確保】

- アンダーパス等による安全な道路横断（新座大橋、黒目川橋）
 - 黒目橋から新座大橋への遊歩道
- 【主な検討課題】
- ・官民境界の画定
 - ・治水、河川環境をふまえた構造

【川沿いの植樹】

- 桜並木の延伸
 - 斜面林とつながる樹木等の形成
- 【主な検討課題】
- ・樹種の合意形成
 - ・治水に支障のない植栽地・方法の検討
 - ・維持管理の連携・協力体制

【まちから黒目川へのアクセス改善】

- 台地側から黒目川への動線確保
 - 歩行者の安全確保（歩道、交差点等）
- 【主な検討課題】
- ・土地所有者等との合意形成
 - ・信号機設置等の関係機関との調整

【川とまちをつなぐ地域交流行事・維持管理】

- 黒目川花まつり、黒目川花広場
 - 黒目川川まつり
 - 河川の清掃活動、桜や緑地の維持管理
- 【主な検討課題】
- ・地域住民、市民活動団体、行政等の連携・協力

【両岸のアクセス確保】

- 周辺トイレへの案内サインの整備
 - 水辺へのアクセス確保（第二中付近）
- 【主な検討課題】
- ・サインの統一的なデザイン
 - ・治水、河川環境をふまえた構造

【川とまち全体の取り組み】

- 生物多様性に配慮した整備
 - 災害時の河川・湧水の水利用
 - 雨水浸透による地下水かんよう
 - 散策等の目安となるキロポスト（距離標）の設置
 - 川とまち（公共施設、トイレ等）をつなぐ案内サイン設置、マップづくり
 - 黒目川に関する継続的な協議の場・仕組みづくり
- 【主な検討課題】
- ・民地が隣接し川幅が狭い箇所での改修方法
 - ・サインの統一的なデザイン

- 本計画は「黒目川まると再生プロジェクト朝霞市部会」において、市民と行政が協働で作成しました。
- 平成24年度から平成27年度の実施を目指して、治水や環境に関する調査、構造や費用対効果など具体化に必要な検討を行います。
- 地域住民や市民活動団体、施設管理者など関係者と十分に検討、調整を行い、合意が得られた取り組みから事業を進めていきます。
- 朝霞市部会での検討等をふまえて、本計画は適宜見直しを行います。